

野外×アート 都立善福寺公園(上池)

※画像はイメージであり、必ずしも今回の展覧作品を示すものではありません。

空間展示

1 黒野 裕一郎 Chrono Yuichiro

【舞台】ラストダンス

いつもと変わらず、これまでと同じように、ここに舞台をつくります。



※野外ステージとしても使用します。

2 竹厚 桂子 Keiko Takeko

【インスタレーション】SEE YOU AGAIN

鮮やかな紅葉達は消えてはうまれる自然のリズムを軽やかに表現しています。この作品を通して、自然にある、ありふれていて小さくて、たくさんあるもの達の美しさ、可愛らしさや強さを感じてもらえたら嬉しいです。



3 武蔵野大学 水谷俊博研究室 Musashino University, Toshihiro Mizutani Lab.

【空間表現作品】Obscured by Clouds

普段は空に浮かぶ雲。その存在は物理的にはとても離れていて、身近には感じづらい。でも、雲は私たちを様々な意味で魅了する。その雲が地上に降りてきてしまうという「非日常」な様相が「日常」の場につくりだされることにより、思わず「キョトン」としてしまう私たち。そこから新たな世界観が開いていく。



4 中尾 紫香 NAKAO Shikou

【インスタレーション】自然的距離

自然的距離を保ちながら立つ樹木。その間に、公園の間伐材を用いて木の壁を制作します。壁で隔てられながらも、空から紅葉が舞い、雨が降り、同じ空気が流れている。



5 宮崎 浩(ボムライウエスト) Miyazaki Hiroshi(BOMBRAI WEST)

【インスタレーション】善福寺鎮守ノ森遺跡

本作品は、「遺跡」をモチーフに、善福寺公園内に柱状、規則的に並べられた石・木片などを配置して「遺跡」を創出する遺跡型インスタレーション作品です。「遺跡」とは、過去の遺物ですが、トロールの森2020のテーマ「キョトン」を受けて、その遺跡自体を制作するという虚構を試みたいと思います。



6 尾形 雄樹 Yuki Ogata

【インスタレーション】東屋台

「公園の求心性に対する抵抗感」と「東屋ってなんだったっけ?」という疑問から生まれた屋台のような可動式の東屋。好きな場所を求め自由に場所を移動できる。東屋の稼働率は増え、方向性に縛られない。門型のフレームによって切り取られた、新たな風景を創出します。



【園内移動】11.3(火・祝)/7(土)/8(日)/14(土)/21(土)/22(日)/23(月・祝) 11:00～16:00

身体表現

＝野外ステージ・ステージ周辺 ＝クヌギ広場 ＝公園内周遊

A 東京バンドネオン倶楽部 Tokyo Bandoneon Club

【音楽演奏】タンゴ・ライブ

アルゼンチンタンゴの代表的な蛇腹楽器バンドネオン6台と、ピアノ、ヴァイオリン、チェロのアンサンブルで秋の公園をノスタルジックな世界に染め上げます。生演奏ならではのタンゴのリズムをお楽しみください。



B ぜんぶくトリヲ Zenpuku Trio

【パフォーマンス】いのちのオンパレード 大酒のみ

ナイジェリアの古典文学「ヤシ酒のみ」に発想を得、一人の大酒飲みが死んでしまった愛する杜氏を探す冒険譚。公園を森に見立て、移動しながら展開します。【集合場所】ポート乗り場付近



C カワムラアツリノ Atsunori Kawamura

【ダンス&トーク】動くべきとき動いて、そうでないときは動かない

即興で踊ります。即興とは何か? ダンスとは何か? を自問自答しながら踊ります。溢れた思考は口からこぼれます。こぼれた言葉がカラダを導いてくれます。



D 三毛猫の音読屋(洲永敬子) The Calico cat's Reading Room(Sunaga Keiko)

【音読劇】おつきさんとねこ(絵・長野 亮之介)

メソッドネコのオーナーで宮城県出身の平さんが、震災のあとにさまざまな思いを込めてつづった童話。捨てられた飼い猫が月との対話を通して、森の生き物としてたくましく暮らすようになる不思議なお話です。



E オンドズ Ondoz

【パフォーマンス】踊らにやソンソン!

西尾賢、チャッキー松本らの作詞・作曲・歌による音頭を構本フサヨがかけられ風に振り付け。「西萩案内音頭」がたがやせ! じょうおじさん音頭「酔農音頭」を紹介。



F アトリエそら+ Atelier SORA Plus

【プロジェクト】マイ本棚を巡る冒険第4巻

こどもたちとのワークショップで作ったマイ本棚を展示します。今年は中にはありません。どんな本がこの本棚に合うだろうか、どんな本を読もうか、想像の中で本の冒険は続きます。期間中リーディングあり。



G aqiLa

【身体表現パフォーマンス】からだ・きよとん・そのさき

公園に突如として現れる演劇のようなコンテンポラリーダンスのような身体表現。周囲の環境やお客さんの反応によって様々な動き、最後には突然どこかへ去っていく。お客さんは「きよとん」とすることでしょう。



H 武井よしあち+ブルーボールカンパニー Take Yoshimichi+Blue Ball Company

【パフォーマンス】足が研す表現の世界第7弾「ステップ&チャント」"公園view"の巻
ステップ(足踏み)とチャント(朗唱)を基軸に、日常の何気ない動作を拾い出す。普段は目に留めなかった「くさくさ」をクロスアップして見る
協力:吉川陽一郎 【集合場所】ステージ付近



7 さくら・アリス Sakura Alice

【インスタレーション・イベント】ハードルの元で待ち、池の端で考える
この束の間のイベントは展覧会期間中に断続的に決まった時間帯に開催します。来訪者は公園の自然の中を歩き回りながら、その不思議な光景に出会えるかもしれません。このインスタレーションを通じ、参加者は自分自身、他者、また周囲との関係性について深く思考することでしょう。



【イベント】11.3(火・祝)/7(土)/8(日)/14(土)/15(日)/21(土)/22(日)/23(月・祝) 11:00～16:00

8 戸室太一建築設計室 Taichi Tomuro Architects

【インスタレーション】それは黄色く揺れている

公園の一面に黄色い丸い物体が地面より少し高いところに、線状にまた円状に連なっていて、ちょっと押してみても、うなうなと動き出します。自然がいっぱいの公園の中にあって、それは人工的なもので作られています。その動きはとても自然なものです。



9 市川 寛 Hiroshi Ichikawa

【ランドアート】catch

都市の中で自然のサイクルを肌で感じられる貴重な場所である善福寺公園。「catch」は、自然の移り変わりに注目し地形や落ち葉にフォーカスしたランドアートインスタレーションです。作品を通して、人と自然の関係について考えるきっかけとなればいいなと思っています。



10 張綺君 Sonia CHEUNG Yee Kwan

【インスタレーション】いつかここで

公園の絶景スポットに設置された、鏡のインスタレーションを楽しむ。公園に捧げた流動的なプロジェクト。リアルタイムの公園の景色がインスタレーションに映し出されます。



11 桑山 彰彦 Akihiko Kuwayama

【彫刻】水面と水面の間に

見えている世界の反転した向こう側に今立っている場所があつちからの向こう側



12 第二次谷杉(ミミトメ) Dainiji Tanisugi(Ears+Eyes)

【演劇インスタレーション】あの時の鳥家族

演劇の枠組みを援用した演劇インスタレーションです。

①巣箱をかけて鳥人間を待ちます
②宮樂したら、そっとのそきこみます
③中には鳥人間の家族が?



【鳥家族観覧】11.3(火・祝)/7(土)/14(土)/21(土)/23(月・祝) 13:00～16:00

13 佐々木 樹 Miki SASAKI

【インスタレーション】わたしたちの光彩 善福寺公園にて/小学生の場合(2020)

本作品群は桃四小の児童にカメラを渡し、公園周辺の場所・モノで興味ある対象を撮影してもらうことから始まる。わたしは撮影した際の感情・理由を具体的に聞きとり、それらの持つ機能を整理し、複合化する。本作品群は、彼らの眼が捉えたポイントが重なり合った、ある瞬間のかたちである。



I 佐藤ひろみとPINMY倶楽部 Sato Hiromi and PINMY Club

【ウォーキングパフォーマンス】PINK MASK Walking

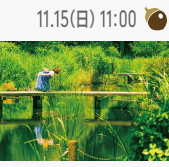
自作のピンクの衣装とピンクのアートマスクを身につけてLOVEウォーキング。桃四小からバスに乗って西萩駅、街中へ。そして善福寺公園へ。ソーシャルディスタンスを意識しながらPINK WAVEを送ります。



J 秋葉 美香 Mika Akiba

【ダンス】Virgin

「キョトン」という感覚を、どうにか身体で表現できないか。日常から少し離れた、非現実的な世界観が作れたら面白いかもしれない。この公園で、木や私がどのように合わせっていくのか... ところあらずやってみよう。



K 西萩茶道部 Nishigi Tea Ceremony Club

【茶道】茶室

サツと組み立て、バツとたためる。神出鬼没の簡易茶室が公園に登場。日常体験から一歩踏み込む茶事が、誰かに見られることでさらに演劇的な体験へ。参加無料・予約受付 nishigi@topaz.plala.or.jp (西萩案内所)



Time Schedule

＝身体表現 ＝空間展示作品の表現行為やイベント アクティンギエリア ＝野外ステージ ＝クヌギ広場 ＝公園内周遊 ＝遊具広場 0＝展示作品付近

	10	11	12	13	14	15	16
3 (火・祝)	11:00～16:00 カワムラアツリノ 00 Bamboo-K 30 カワムラアツリノ 00 カワムラアツリノ 00 武井よしあち 00 佐藤ひろみとPINMY倶楽部 00 まちなか 善福寺公園						
8 (日)	11:00～16:00 Bamboo-K 00 アトリエそら+ ぜんぶくトリヲ 00						
14 (土)	11:00～16:00 作品 21 の近く 西萩茶道部 00						
15 (日)	11:00～16:00 秋葉美香 00 ぜんぶくトリヲ 00 三毛猫の音読屋(洲永敬子) 00 aqiLa 40 作品 21 の近く 西萩茶道部 00 の前の木 ハルカバード 15 の前の木 ハルカバード 30 アトリエそら+ 00 リーディング						
22 (日)	11:00～16:00 aqiLa 00 ぜんぶくトリヲ 00 三毛猫の音読屋(洲永敬子) 00 の前の木 ハルカバード 15 の前の木 ハルカバード 30 アトリエそら+ 00						
23 (月・祝)	11:00～16:00 アトリエそら+ 00 リーディング 00 東京バンドネオン 00 カワムラアツリノ 30 東京バンドネオン 00 武井よしあち 30 カワムラアツリノ 00 オンドズ 00 こぼれたあそび 西村正平						
空間展示作品の 期日限定 イベント	6 尾形雄樹 11.3(火・祝)/7(土)/8(日)/14(土)/21(土)/22(日)/23(月・祝) 11:00～16:00 7 さくら・アリス 11.3(火・祝)/7(土)/8(日)/14(土)/15(日)/21(土)/22(日)/23(月・祝) 11:00～16:00 14 山梨由理 11.3(火・祝)/7(土)/14(土)/23(月・祝) 10:00～16:00 12 第二次谷杉(ミミトメ) 11.3(火・祝)/7(土)/14(土)/21(土)/23(月・祝) 13:00～16:00						

14 中村 知嗣 TOMOTSUGU NAKAMURA

【インスタレーション】和

人は完璧では無い。しかし、人は相手に対して、完璧を求める。植物＝人、装飾＝今まで生きてきたしがらみ、情報。今、この時代、相手に完璧を求めるのは、相応しく無い。それよりも、分かち合う選択を選ぶ方が良いのではないだろうか。



15 深沢 義一 FUKAZAWA Yoshikazu

【インスタレーション】らせん

すべての物事はらせんになっている。ぐるっと回って元の所に戻っているようで少しずつ成長している。森羅万象 輪廻転生



16 山梨 由理 YAMANASHI Yuri

【パフォーマンス】ドツベルゲンガー

等身大の私の絵を展示して、私が歩き回るパフォーマンスと、等身大の私を描くライブペイントを行います。「あ、あの人さき見た」「あ、絵の人だ」と思ってもらえたり、話しかけてもらえれば幸いです。

【ライブペイント】11.3(火・祝)/7(土)/14(土)/23(月・祝) 10:00～16:00



17 田附 希恵 Kie Tatsuki

【彫刻】むれをなすサカナ

川の流れに逆らって複数のサカナが同じ方へあよく。世界のすべてのものを人はそれぞれの特徴でわけてきました。でもその分類は人間が都合で作っただけ。それを知ってもそのものを理解してるわけではないのです。



18 栗田 昇 KURITA Noboru

【インスタレーション】ウォーターワールド

静かに水をたたえた善福寺池、トロールの妖精が魔法をかけて、水が流れ出し、吹き上がり、水車を回し、魚が踊る...、いつもと違う池の景色は、魔法が解けるその日まで、つづく。



19 永林 香穂 NAGABAYASHI Kaho

【彫刻】おしりダケ

「頭の中で生まれた、枯れない植物」を作っています。この世界にはまだ存在しない、おしりのような植物を公園と屋内に展示します。おしりダケを通して、今日見てくれた人とおしりあいになれるように。



20 丹尾 敏 niobin

【彫刻】種について -それから-

2014年の展覧作品「種について」は種の中に人が入れる作品でした。その後、桃井第四小学校屋上に長く展示させて頂き、子供たちが大切にしてくれました。時を超え、形を変え、鉄の命を繋いでいきます。ゆりかごのように。



L ハルカバード haruka bird

【エアリアルパフォーマンス】星の涙

エアリアルはサーカスや大道芸でよく見る空中パフォーマンスです☆5mの高さの枝に吊るした長い布を登ったり、くるくる回ったりします☆



M Bamboo-K

【パントマイム】マイムショートストーリー《鳥》《風》

自然にちなんだ自作マイムより「鳥」と「風」を演出。特に「風」は秋の作品であり、インスタレーション作品の「SEE YOU AGAIN」とも通ずる部分も。動物と人、人と人、人と自然の素敵な関わりをささやかに表現する。



N 青山学院大学鳥越けい子研究室+ラジオばちばち Aoyama Gakuin University, Keiko Torigoe Lab.+Radio88

【ラジオ】ラジオトロール2020

会期中、参加アーティストや作品の魅力をインターネットラジオでお届けします。放送日時やURLは、公式HPをご覧ください。



※天候等により中止または会場を変更する場合があります。その際は公式HPでお知らせします。

21 章元駿 ZHANG Yuanjun

【インスタレーション】立冬

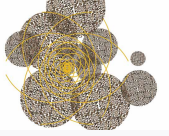
秋が極まり冬の気配が立ち始める立冬の時期。工場で生産された花々が構成された、「立冬」というタイトルの古詩一首が一面に描えられている。それは人工的なものと自然との境界線を曖昧にする花畑だ。



22 久木田 茜 Kukita Akane

【インスタレーション】文を編む

都内の公園に縄文土器の文様から触発された、道跡のような美しい空間を作る。モチーフは縄文土器の文様。縄文土器の文様の一部は、縄文という名前通り縄目を押し付けて作られている。その不在の糸を再び立ち上げらせ、フィボナッチや黄金比による螺旋を重ねた文様へ再構成させる。



23 桃四コミュニティスクール MOMOSHI Community School

【インスタレーション】おでかけトロール

西萩駅前からバス通りへとびるトロールたちが、公園内へと続き、森でかぐれんぼ。



24 2.5 architects(森藤文華+葛沁芸) Fumika Morito+Shingei Katsu

【インスタレーション】Signal

ウイルスによって全世界で人々は接触を避けるようになり、分断が起こり、それでもなおコミュニケーションを求めるこの時代。明日への道筋を照らす暗闇の中の灯台のように、そっと密かなサインを送り続けてくれる存在を紡ぎます。



25 池の畔の遊歩音楽会チーム Team Promenade Concert around the Pond

【インスタレーション】池の畔の遊歩音楽会2020:トランスメディアアウトーク

かつてこの池の周りで執り行われてきた「不思議な儀式／遊歩音楽会」の跡地巡礼。各地点に示されたコードを読み解くと、それぞれの歌や踊りが立ち現われる。リアルな世界の只中からそれらの音源を聴くとき、私たちは「土地」に蓄積された歴史や記憶」をどこまで感じることができるだろうか?



アーティスト・デイ Artist Day

11.3(火・祝)/23(月・祝) 10:00～16:00

作家が作品のもとで作品を解説します。作家により滞在日時が異なります。詳しくは公式HPをご覧ください。

※写真は過去のアート・ツアー時の様子です。

野外マップ

※展示場所は変更する場合があります。



インフォメーション Information

会期中 日・祝設置

会期中の日・祝にオープンするトロールの森の総合案内所。作家のポートフォリオや公演のチラシなどが揃っています。

